

スマートエスイー 修了後フォローアップ・ニーズ調査

2024年3月11日

実施期間: 2023年12月19日～2024年1月31日

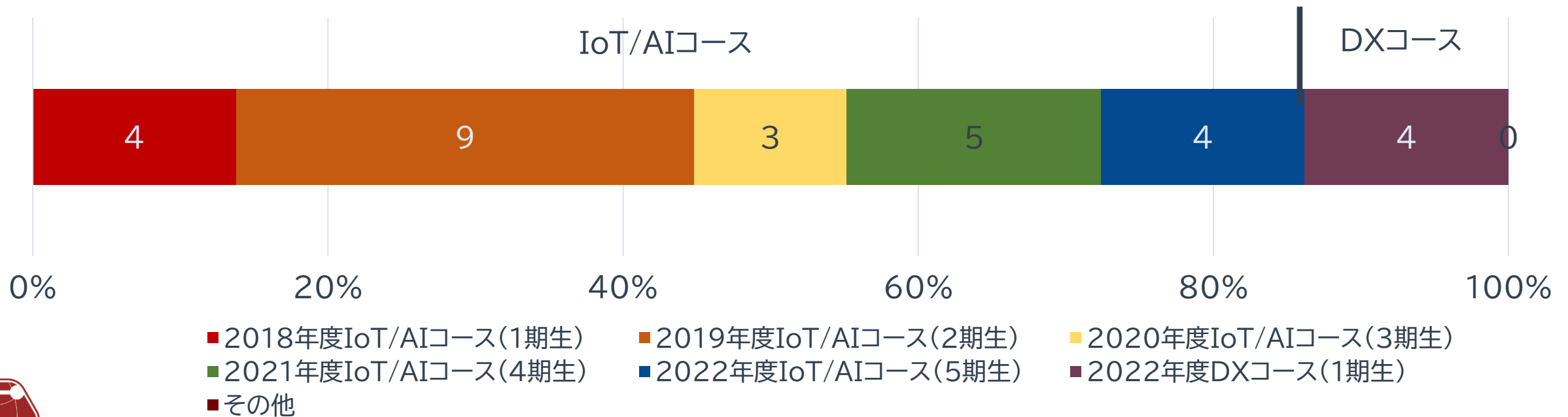
回答者数: 29名



Q1 受講したコースと受講年度を教えてください。※IoT/AIコース(旧称:正規履修)

2018年度 IoT/AIコース (1期生)	2019年度 IoT/AIコース (2期生)	2020年度 IoT/AIコース (3期生)	2021年度 IoT/AIコース (4期生)	2022年度 IoT/AIコース (5期生)	2022年度DX コース (1期生)	その他
4	9	3	5	4	4	0

受講コースと年度

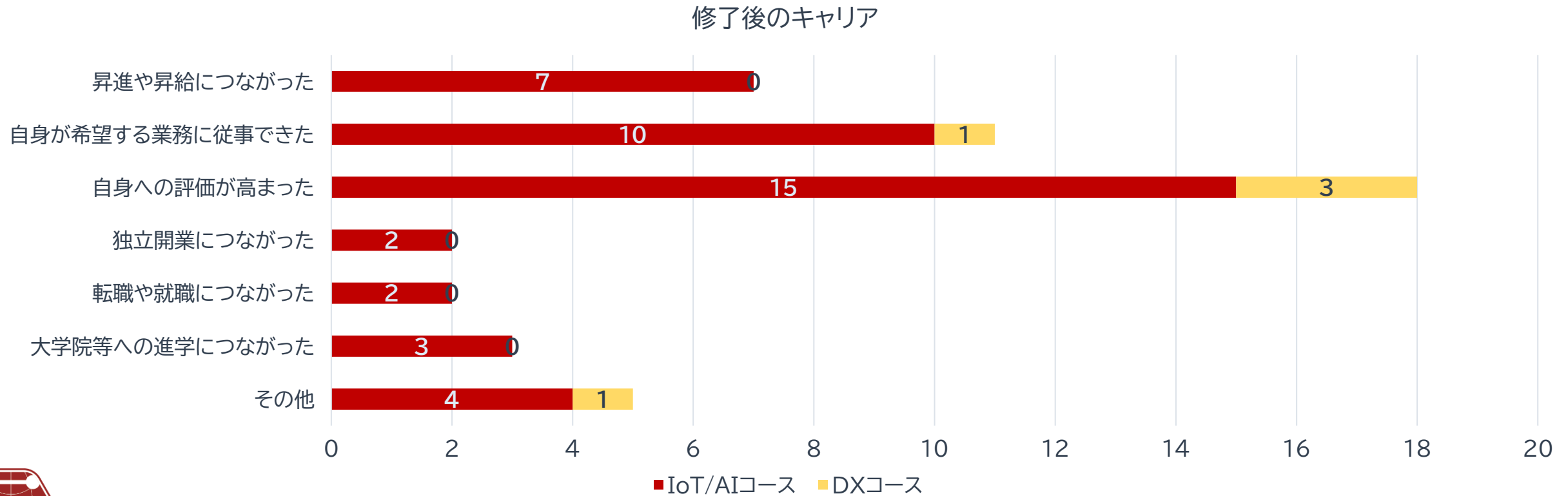


n=29 (IoT/AIコース: 25, DXコース: 4)



Q2 スマートエスイーの修了は、以下のスキルアップにつながりましたか。 つながったものすべてにチェックしてください。

	昇進や昇給につながった	自身が希望する業務に従事できた	自身への評価が高まった	独立開業につながった	転職や就職につながった	大学院等への進学につながった	その他
IoT/AIコース	7	10	15	2	2	3	4
DXコース	0	1	3	0	0	0	1
全体	7	11	18	2	2	3	5



n=29 (IoT/AIコース: 25, DXコース: 4)



Q2 スマートエスイーの修了は、以下のスキルアップにつながりましたか。
つながったものすべてにチェックしてください。

■ 「その他」の内訳

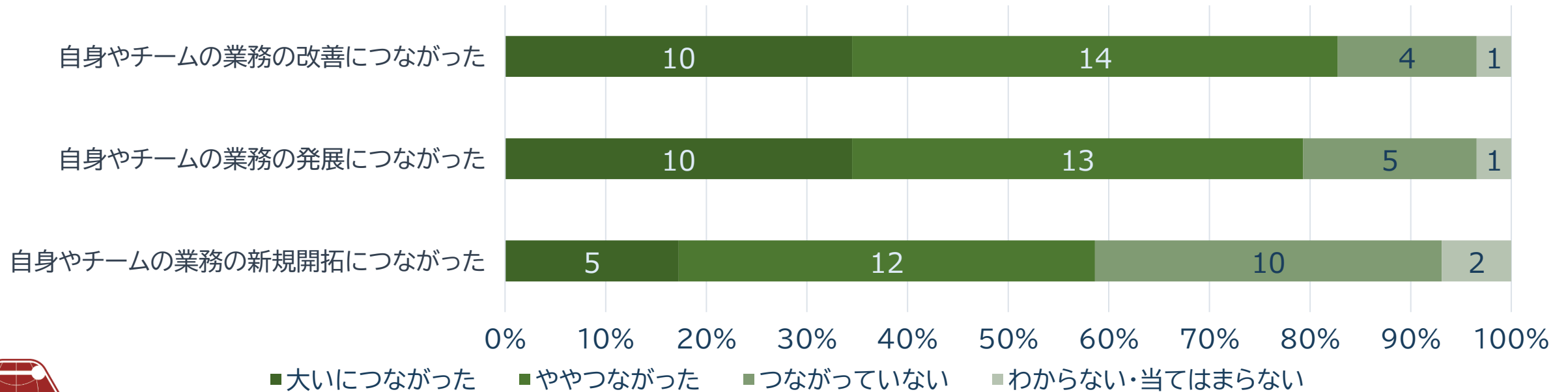
- 自信を得た(IoT/AIコース)
- AIに関する更なるスキル向上に取り組んだ(IoT/AIコース)
- 意識改善につながった(IoT/AIコース)
- 社外ネットワークが拡大した(DXコース)



Q3 修了後、学んだ知識は、自身やチームの業務の改善や発展につながりましたか。 改善、発展、新規開拓ごとにご回答ください。

全体	大いにつながった	ややつながった	つながっていない	わからない・当てはまらない
自身やチームの業務の改善につながった	10	14	4	1
自身やチームの業務の発展につながった	10	13	5	1
自身やチームの業務の新規開拓につながった	5	12	10	2

業務改善・発展(自身やチーム)



n=29 (IoT/AIコース: 25, DXコース: 4)



Q4 差し支えなければ、改善や発展の内容を具体的にご記入ください。 (Q3の具体例)

■ 改善や発展の内容

- 新規事業のノウハウがないため、会社としてはSIerなどが提供する伴走型プログラムを活用していたが、対等にコミュニケーションを取れる人材が少なく、言われるがままの状態であり費用対効果が上手く出せないでいた。スマートエスイー修了後に、新規事業の部に異動となり、その現状を変えることに寄与した。具体的には、現ステージで何をすべきか、どの様なフレームワークを活用するのか、顧客インタビューではどの様ことを明確にするのかなど。
- より高度な技術に対して調査する機会を得ることができた。
- 人事部を巻き込んだDX人材育成を提案し、予算化できた。
- AIを活用した他企業が提供するサービスの仕組みの一端を理解することができ、同種のアプリケーションやプラットフォームについて評価し、採用の是非についての推奨や採用可否について判断することが出来た。
- ある新規事業に対してビジネスモデルキャンパス等の手法で分析を行い軌道修正を提言する事が出来た。



Q4 差し支えなければ、改善や発展の内容を具体的にご記入ください。 (Q3の具体例)

■ 改善や発展の内容 つづき

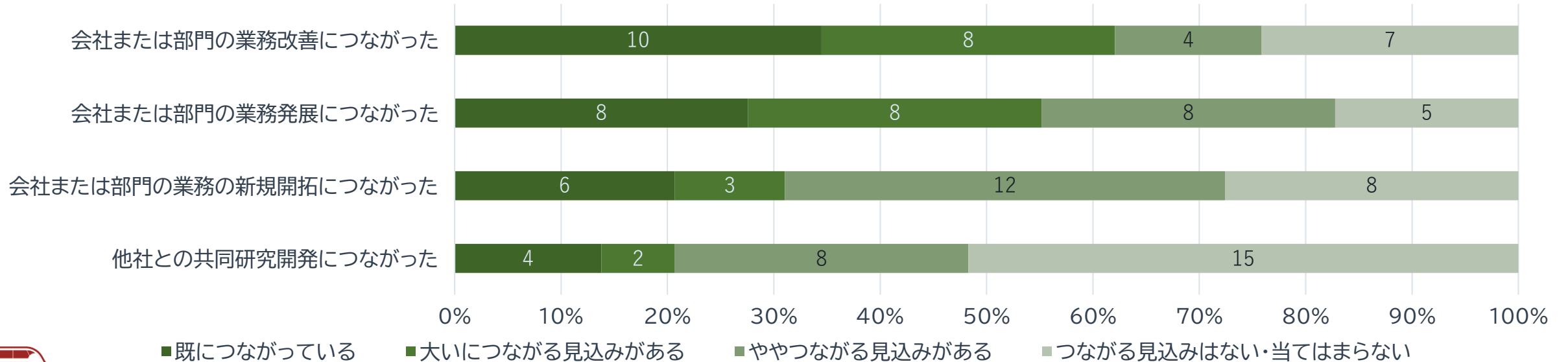
- RPAによる名刺登録は業務として定着し、効率化につながった。また、自社が提供しているAI分析ツールについての理解が高まり、社内への機能改善の提案・クライアントへの説明の納得性につながっている。
- 経営者目線で、デジタル化やIT化自体が遅れていた企業において、企業としてDXを推進し始めることができる。
- 工場でのシステム開発の要件定義、今後のAI活用まで視野に入れた提案ができた。
- 画像解析技術向上



Q5 学んだ知識が所属機関の業務の改善や新しい開発につながりましたか。 改善、発展、新規開拓、共同研究開発ごとにご回答ください。

	既につながっている	大いにつながる見込みがある	ややつながる見込みがある	つながる見込みはない・当てはまらない
会社または部門の業務改善につながった	10	8	4	7
会社または部門の業務発展につながった	8	8	8	5
会社または部門の業務の新規開拓につながった	6	3	12	8
他社との共同研究開発につながった	4	2	8	15

業務改善・発展について(所属機関)



Q6 差し支えなければ、改善や発展、新規開拓の内容を具体的にご記入ください。 (Q5の具体例)

■ 改善や発展、新規開拓の内容つづき

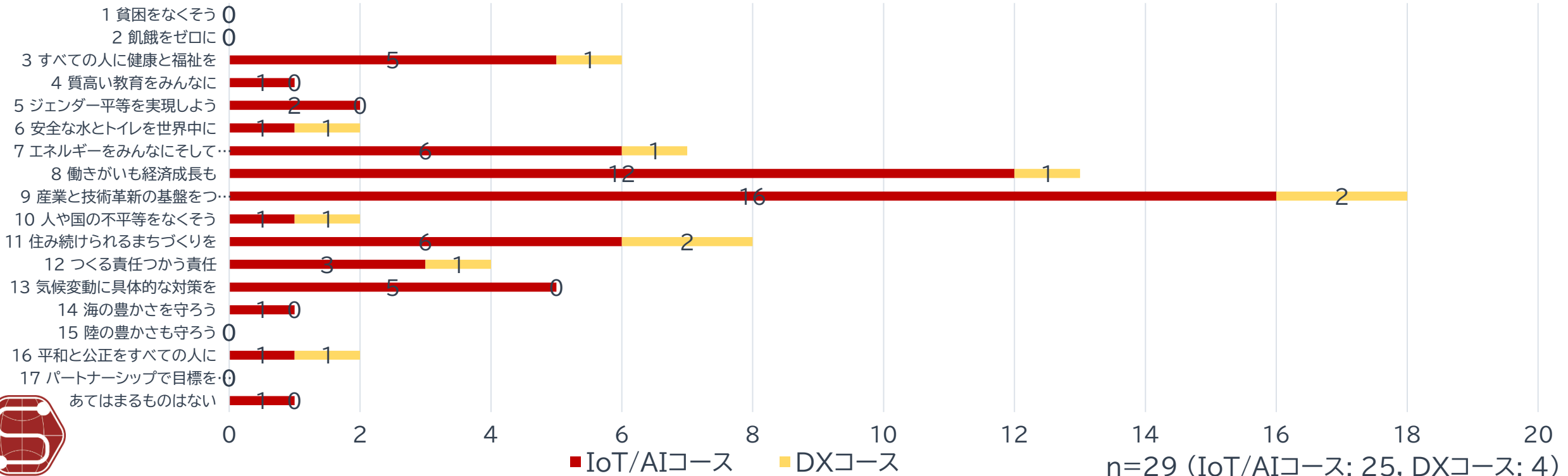
- 社内のAI教育の場に呼ばれることが増え、社内のAIプロジェクトをスタートさせることに繋がった。具体的には、グループ会社が行なっているAI事例を自社に導入する架け橋になっている。これもスマートエスイーの取り組み内容をグループ会社にも発信できたことが奏功し、グループ会社のAIの取り組みなど紹介していただける機会を得たり、自社の困りごとの相談がくるなどの仕組み作りができたことが大きい。
- 同窓生と弊社ドメインでの協業に関するディスカッションを実施した。
- 膨大な資料に目を通す属人的な業務をAIを活用したサービスを活用することで、業務の標準化や時間の削減、省力化につながっている。
- DXコンサルティングだけでなく、自身でシステム開発ができるようになり、独立開業後の事業拡大に発展した。
- AI開発プロジェクトを担当
- IoT システムを対象とした、ソフトウェア・システムアーキテクトを育てるための取り組みを提案している。



Q7 ご自身の業務はSDGsのどの目標に関連していますか。 当てはまるもすべてにチェックしてください。

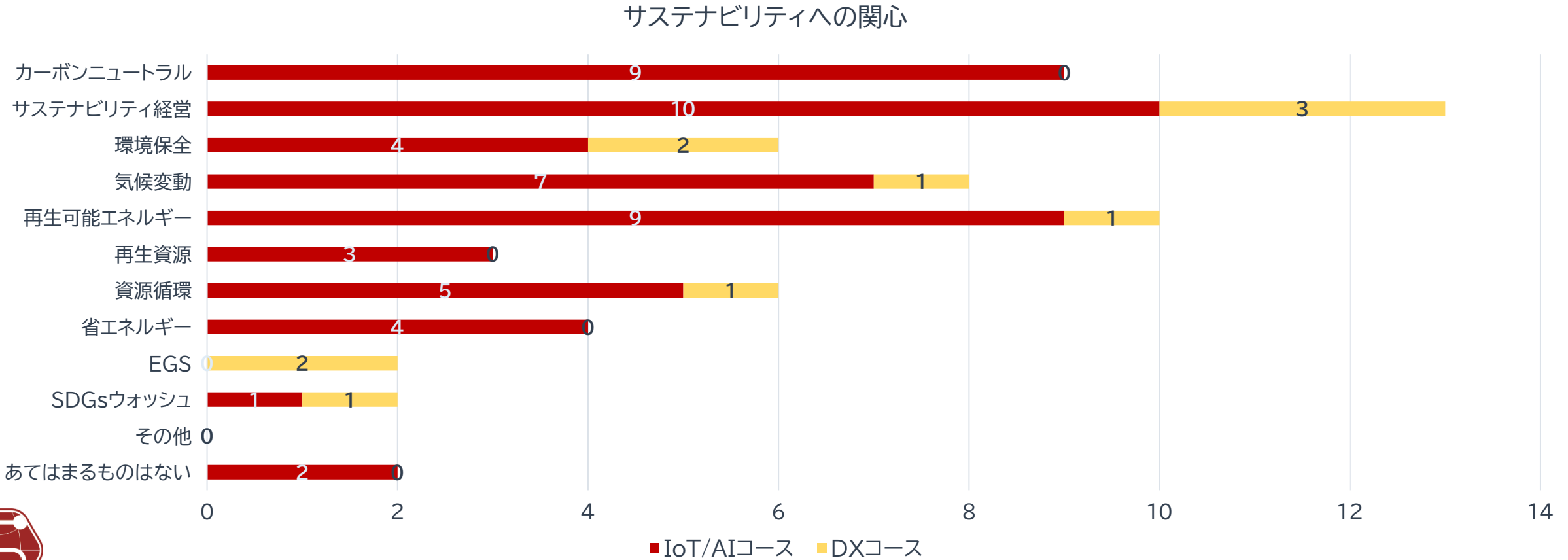
	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリシップで目標を達成しよう	当てはまるものはない
IoT/AIコース	0	0	5	1	2	1	6	12	16	1	6	3	5	1	0	1	0	1
DXコース	0	0	1	0	0	1	1	1	2	1	2	1	0	0	0	1	0	0
全体	0	0	6	1	2	2	7	13	18	2	8	4	5	1	0	2	0	1

サステナビリティへの関心(SDGsの目標)



Q8 以下のキーワードのうち、ご自身にとって特に関心が高いものを3つ選択してください。

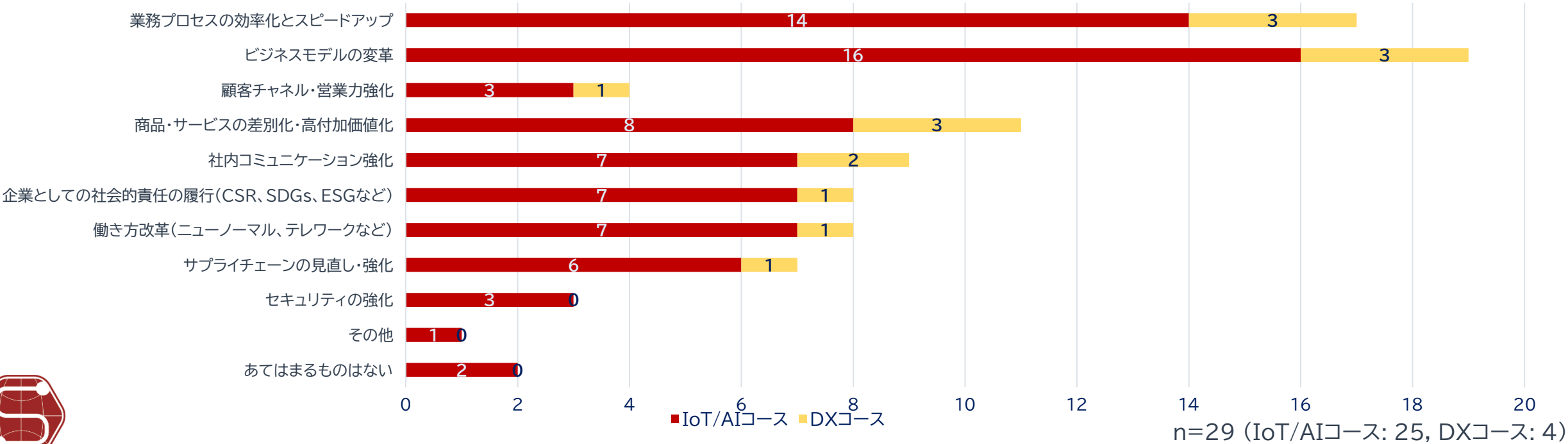
	カーボンニュートラル	サステナビリティ経営	環境保全	気候変動	再生可能エネルギー	再生資源	資源循環	省エネルギー	EGS	SDGsウォッシュ	その他	あてはまるものはない
IoT/AIコース	9	10	4	7	9	3	5	4	0	1	0	2
DXコース	0	3	2	1	1	0	1	0	2	1	0	0
全体	9	13	6	8	10	3	6	4	2	2	0	2



Q9 ご自身や所属機関が、DX(デジタルトランスフォーメーション)やSX(サステナビリティトランスフォーメーション)の推進によって達成したいことは何ですか。当てはまるものすべてにチェックしてください。

	業務プロセスの 効率化とスピードアップ	ビジネスモデル の変革	顧客チャネル・ 営業力強化	商品・サービスの 差別化・高付 加価値化	社内コミュニ ケーション強化	企業としての社 会的責任の履 行(CSR、 SDGs、ESGな ど)	働き方改革 (ニューノーマ ル、テレワーク など)	サプライチェー ンの見直し・強 化	セキュリティの 強化	その他	当てはまるもの はない
IoT/AIコース	14	16	3	8	7	7	7	6	3	1	2
DXコース	3	3	1	3	2	1	1	1	0	0	0
全体	17	19	4	11	9	8	8	7	3	1	2

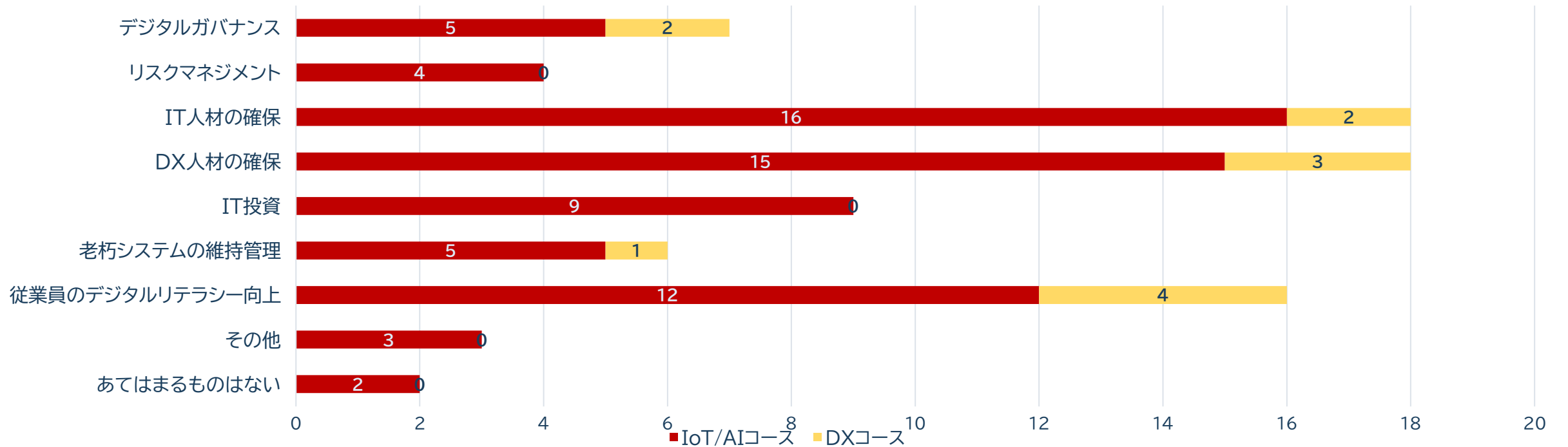
DX・SX推進への期待



Q10 ご自身や所属機関がDXを推進する上で課題に感じていることは何ですか。
当てはまるものすべてにチェックしてください。

	デジタルガバナンス	リスクマネジメント	IT人材の確保	DX人材の確保	IT投資	老朽システムの維持管理	従業員のデジタルリテラシー向上	その他	当てはまるものはない
IoT/AIコース	5	4	16	15	9	5	12	3	2
DXコース	2	0	2	3	0	1	4	0	0

DX推進の課題



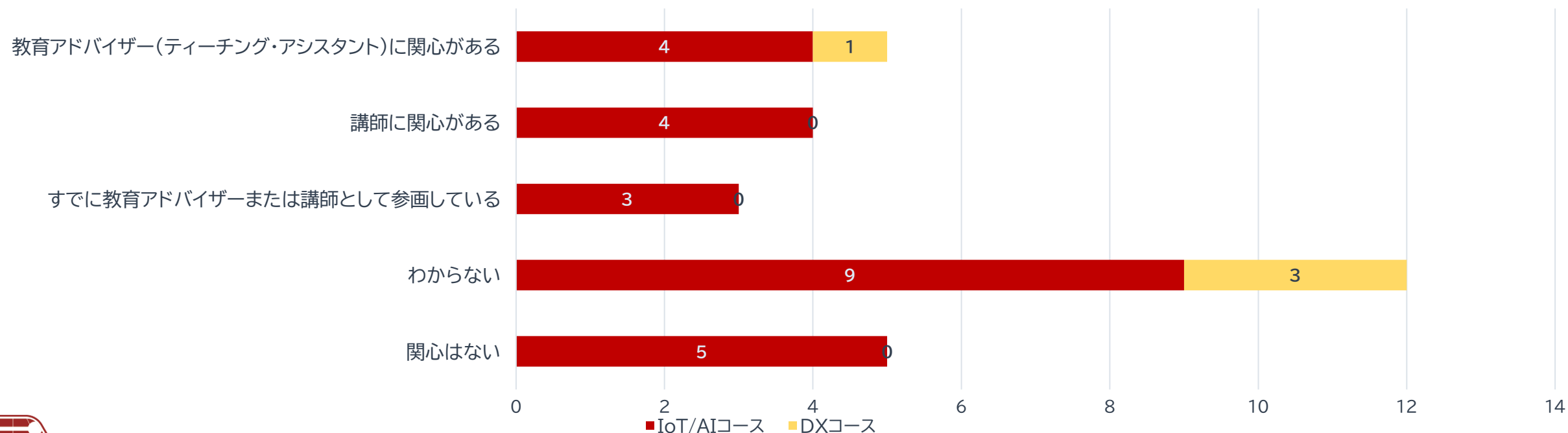
n=29 (IoT/AIコース: 25, DXコース: 4)



Q11 スマートエスイーでは教育アドバイザー(ティーチング・アシスタント)や講師を募集しています。 これらに関心がありますか。

	教育アドバイザー(ティーチング・アシスタント)に関心がある	講師に関心がある	すでに教育アドバイザーまたは講師として参画している	わからない	関心はない
IoT/AIコース	4	4	3	9	5
DXコース	1	0	0	3	0
全体	5	4	3	12	5

スマートエスイーへの参画



n=29 (IoT/AIコース: 25, DXコース: 4)



Q12 スマートエスイーに関してご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。
(例)今後スマートエスイーで取り上げてほしいテーマなど改善や発展の内容を具体的にご記入ください。

■ 意見・要望

- 後輩が参加しやすくなるよう、一般希望者よりも優先的な募集をしてほしい。
- 会社全体としてウォーターフォール型開発の部署が多く、アジャイル型開発のノウハウがやや乏しい→品質を保ったままDevOps全体を最適化するためのノウハウを実習を交えながら共有してほしい。
- 従来型の脅威に加えて、システムに推論モデルを組み込むことに伴う脅威に関して、体系的な教育プログラムが欲しい。推論モデルの品質管理やモデルの更新に伴う自動化などについてもベストプラクティスを共有してほしい。
- 社会人向けリカレント教育の一環として是非、旧IOT/AIコースについても継続していった貰いたい。また、対面での受講機会も提供して頂けると、受講生同士による学びに対する相互の励ましや、他業種との関係構築、良いアイデアが生まれる場に貢献出来ると思う。

- 生成AI



Q12 スマートエスイーに関してご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。
(例) 今後スマートエスイーで取り上げてほしいテーマなど改善や発展の内容を具体的にご記入ください。

■ 意見・要望 つづき

- IoT/AIコース及びDXコースの双方を修了しているが、修了制作やゼミで、自らの課題を専門家の方と一緒に密に連携しながら取り組めた経験は実務で非常に役に立っている。そのため、2コース以外においても専門家の方と自らの課題に取り組めるようなコースや取り組みが展開されると嬉しい。
- 同時期に応用情報技術者試験に合格したが、自身の成長の上で大きなシナジーを感じた。また米国大学院への進学の際は、証明書等のご対応ありがとうございました。
- 最近、sseの露出が下がってきたような気がする。今後の活躍も期待している。
- 社内教育を企画する際に、連携できると良いと思う。(教育の共同開発など)
- もっと知名度を上げていただきたい。転職の面接の際に、何度もその存在自体について質問されることがある。修了すると非常に価値ある人材とみなされるくらいの教育になっていってくれることを願っている。

